

住宅用家屋証明願

平成 年 月 日

(宛先) 野田市長

申請人 住所 野田市鶴奉7番地の1

氏名 野田 太郎 印

租税特別措置法施行令

第41条	特定認定長期優良住宅以外
	(a) 新築されたもの (b) 建築後使用されたことのないもの
特定認定長期優良住宅	(c) 新築されたもの
	(d) 建築後使用されたことのないもの

(イ) (ロ) 第42条第1項(建築後使用されたことのあるもの)

の規定に基づき、下記の家屋 { 平成 年 月 日 (ハ) 新築 }
{ (ニ) 取得 }

がこの規定に該当することを証明願います。

記

建築主又は取得者	住所	野田市鶴奉7番地の1	
	氏名	野田 太郎	
家屋	所在	野田市 鶴奉7番地の1	
	家屋番号	7番1	
	構造 (建築後20年超25年以内に取得された場合)		
	床面積	1階 100.00 m ²	2階 80.00 m ²
	取得の原因 (移転登記の場合)	(1) 売買	(2) 競落
家屋取得者の居住	(1) 人居済	(2) 人居予定	
区分建物の耐火性能	(1) 耐火又は準耐火	(2) 低層集合住宅	

上記のとおり相違ないことを証明する。

野企課第 号

平成 年 月 日

千葉県野田市長 根本 崇

《備考》

- 1 { }の中は、(イ)又は(ロ)のうち該当するものを で囲み、(イ)を で囲んだ場合は、さらに(a)又は(b)のうち該当するものを で囲むこと。
- 2 「建築年月日」の欄は、(b)又は(d)を 印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 3 「取得年月日」の欄は、所有権移転の日を記載すること。なお、(a)又は(c)を 印で囲んだ場合は記載しないこと。
- 4 「取得の原因」の欄は、上記(イ)(b)若しくは(d)又は(ロ)を 印で囲んだ場合に限り、(1)又は(2)のうち該当するものを 印で囲むこと。
- 5 「申請者の居住」の欄は、(1)又は(2)のうち該当するものを 印で囲むこと。
- 6 「構造」の欄は、建築後20年超25年以内に取得された家屋について証明を申請する場合に記載し、当該家屋の登記記録に記載された構造を記載すること。
- 7 「区分建物の耐火性能」の欄は、区分建物について証明を申請する場合に(1)又は(2)のうち該当するものを で囲むこと。なお、建築後使用されたことのある区分建物の場合、当該家屋の全部事項証明書 登記簿 に記載された構造が、石造、れんが造、コンクリートブロック造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、又は鉄骨鉄筋コンクリート造であるときは、(1)を で囲むこと。